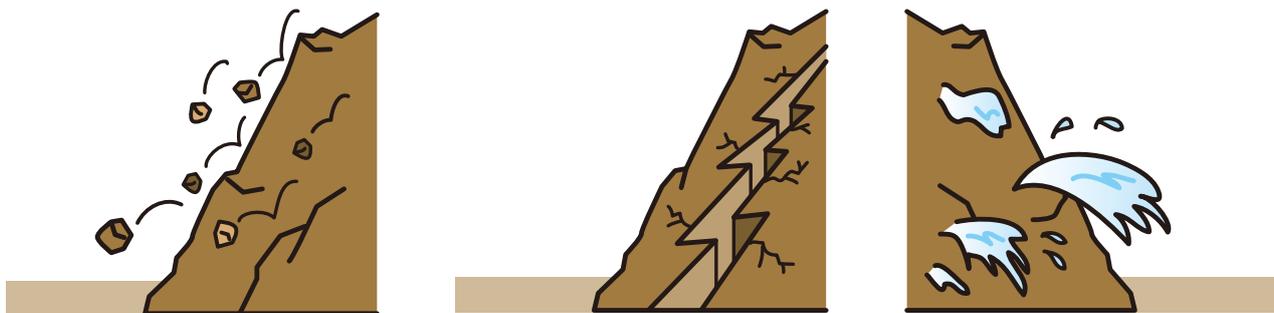


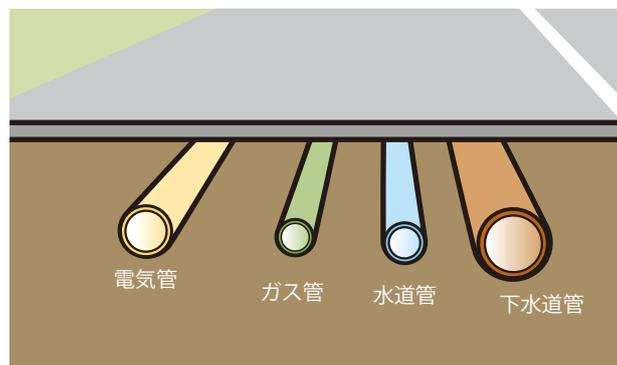
土工職の安全業務

(1) 掘削作業

- ①作業前に作業現場を点検します。
- ・浮石、落石及びき裂の有無の確認
 - ・含水、湧水の状態の変化の確認



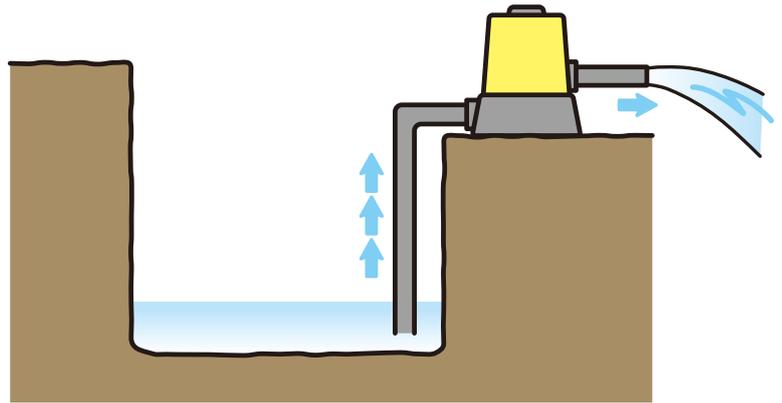
- ・ガスパ管や電線ケーブルなど埋設物の有無の確認



- ②落下のおそれのある土石を取り除き、擁壁、土止め支保工を設けます。



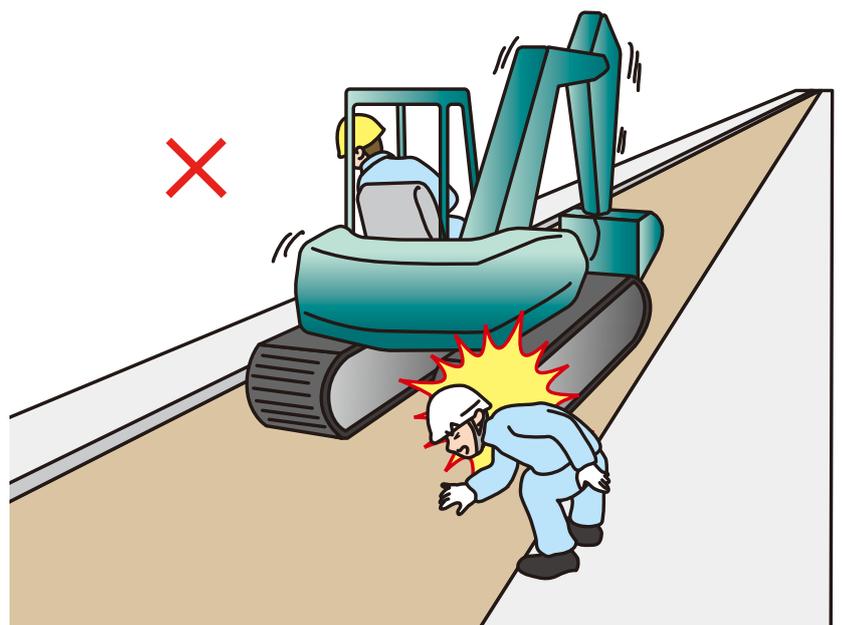
- ③崩落の原因となる作業場所は雨水、地下水を排水します。



- ④すかし掘りをしてはいけません。



- ⑤機械の近くで作業するときは、誘導者がいることを確認します。

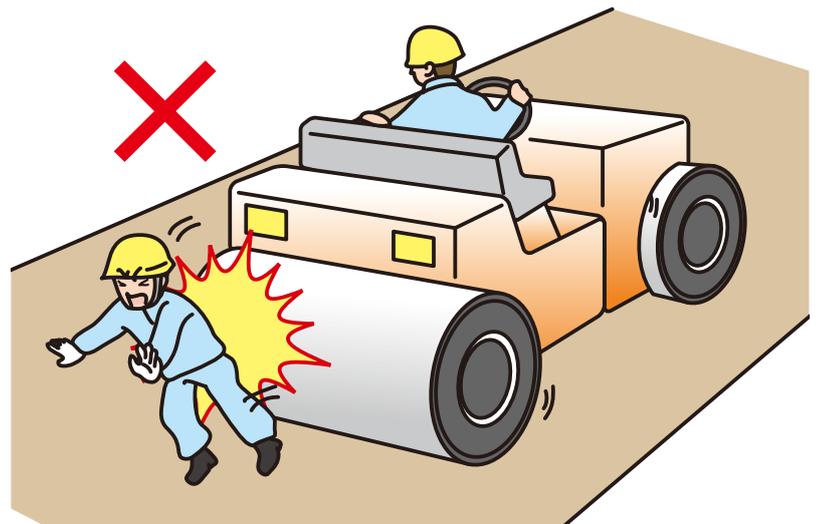


(2) 埋め戻し作業

- ①機械を使って作業するときは誘導者がいることを確認する。



- ②建設機械の死角に入らないようにする。

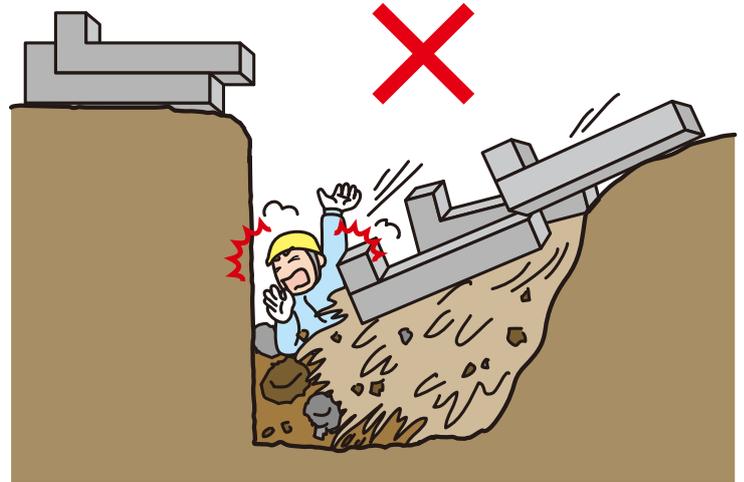


- ③巻き込まれやすい服装はしない。タオルを首や腰にかけない。

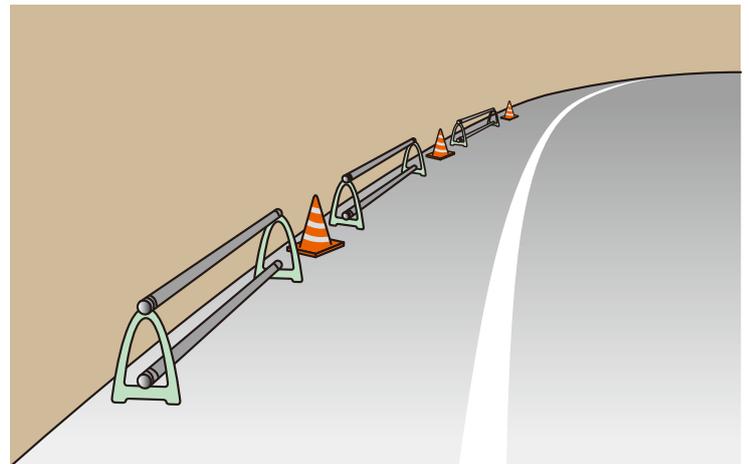


(3) 盛り土・切り土作業

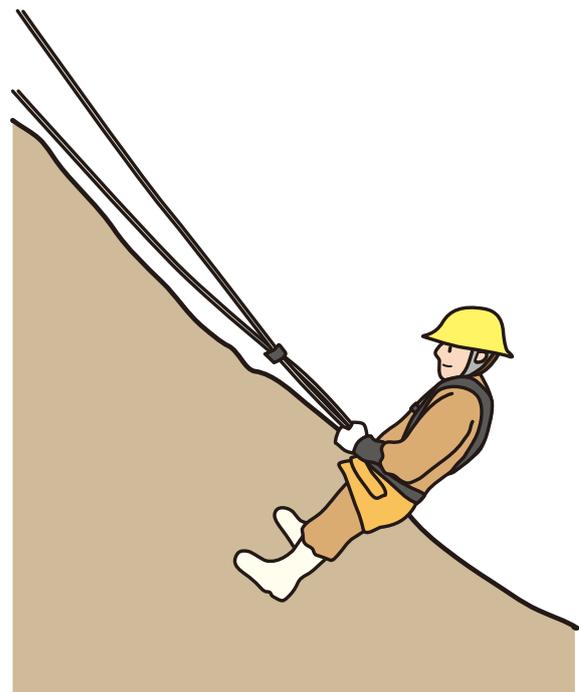
①法肩には重量物を置かないようにします。



②法肩・路肩にはバリケードを設置し、転落を防止する。



③斜面で作業するときは、墜落制止用器具(安全帯)をつける。

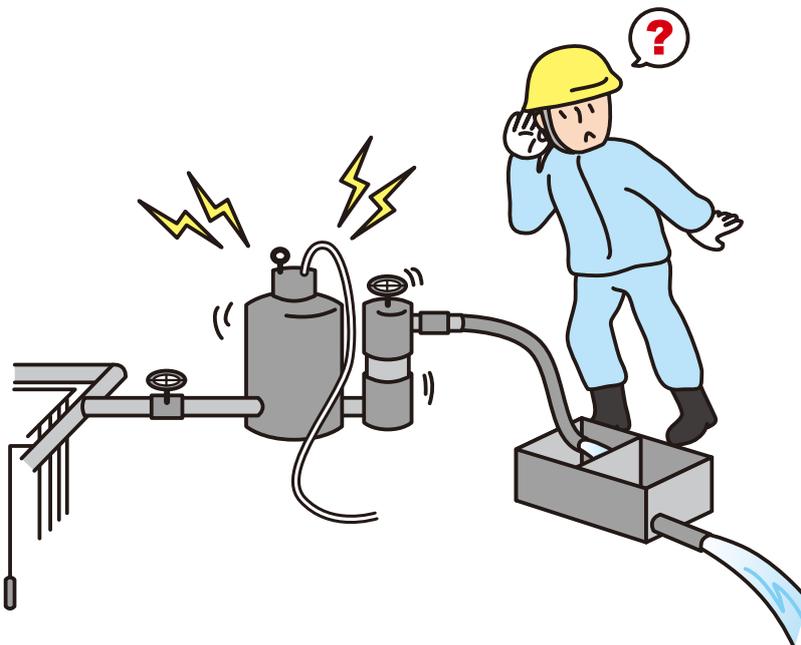


(4) 水処理作業

①地盤沈下や土砂崩落の可能性のある場所には近づかない。



②ポンプ・配管等から異音が聞こえる場合は、近づかずに指揮者に報告する。

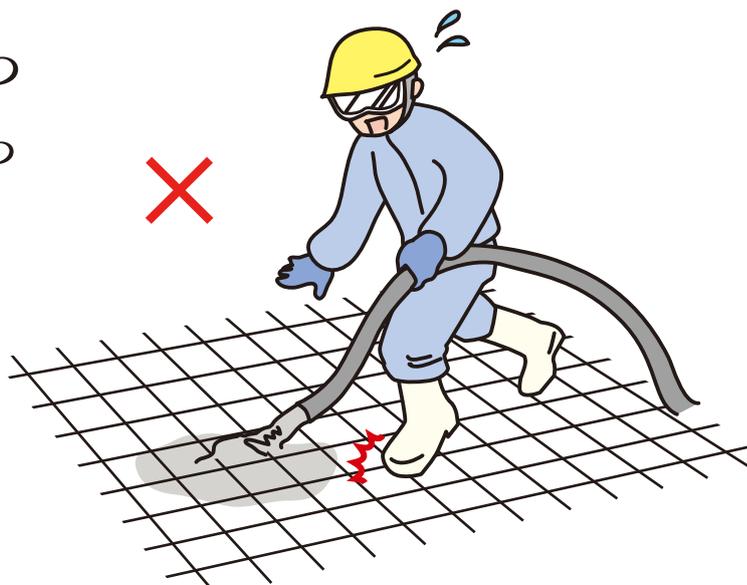


(5) コンクリート等の打ち込み作業

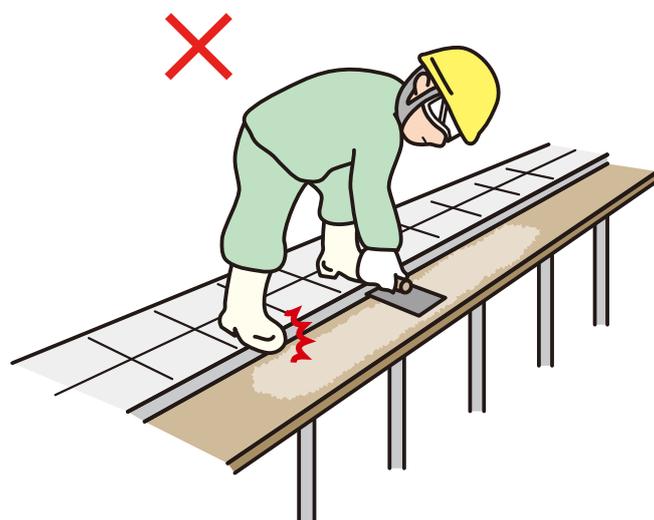
- ① 攪拌機などの回転する機械の近くでは、巻き込まれに注意する。



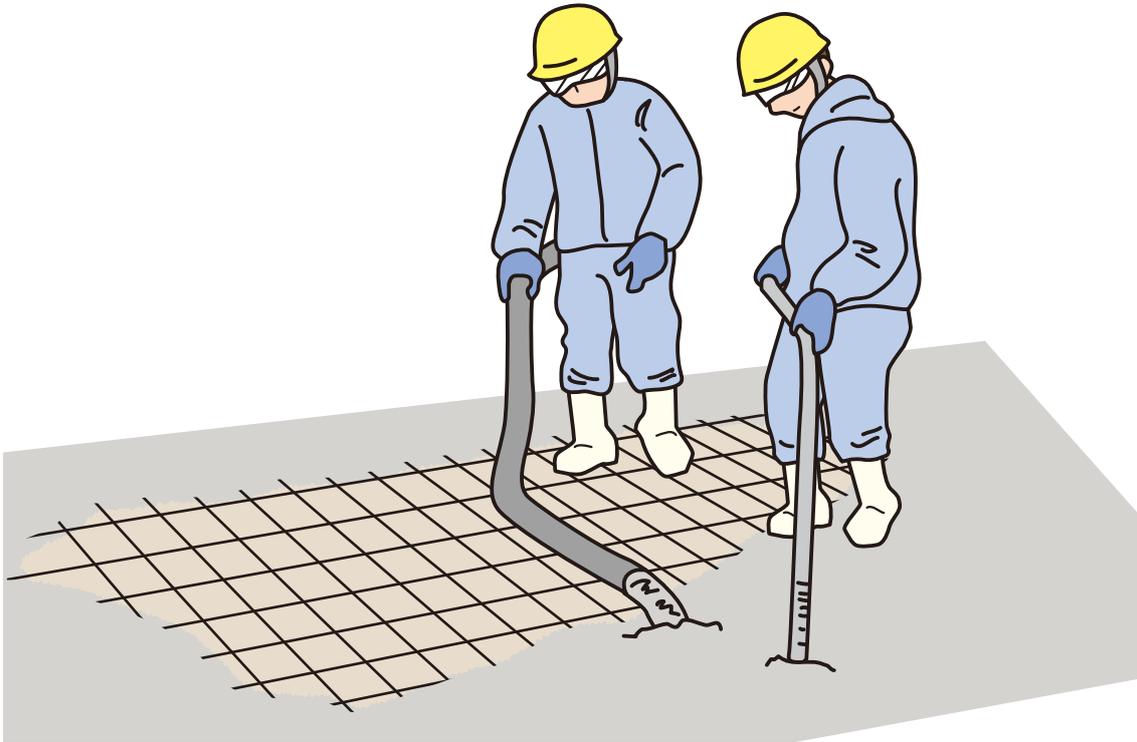
- ② 鉄筋の上を歩く際には、つまづき・転倒・作業服の引っ掛けに注意する。



- ③ 打設足場等からの転落に注意する。高さが2m以上の場所では、墜落制止用器具(安全帯)を使用する。



- ④生コンクリート等が跳ね、皮膚に触れたり眼に入らないようにする。

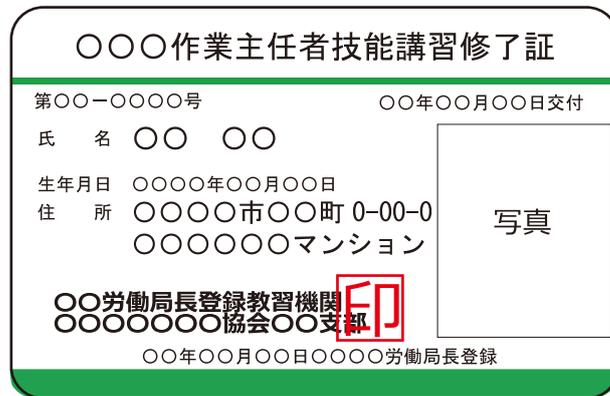


- ⑤コンクリートバイブレータ等を使用するときは、定められた教育を受ける。



(6) 作業主任者が必要な作業 (主に土工と関連ある作業のみ)

- ①地山の掘削及び土止め支保工作業
- ②酸素欠乏・硫化水素危険作業
- ③足場の組立て等作業
- ④型枠支保工の組立て等作業
- ⑤ずい道等の掘削等作業
- ⑥はい作業



(7) 運転・操作・使用するために講習・教育の受講が必要なもの

(主に土工と関連ある作業のみ)

- ①車両系建設機械の運転
- ②クレーン運転
- ③移動式クレーン運転
- ④玉掛け
- ⑤足場の組立て等作業
- ⑥高所作業車運転
- ⑦フォークリフト運転
- ⑧振動工具の取扱い
- ⑨不整地運搬車の運転
- ⑩ローラーの運転
- ⑪酸素欠乏・硫化水素危険作業
- ⑫ずい道等の掘削等作業

